

令和7年度 第73回 山梨県中学校サッカー新人大会 実施要項

- 1 主 催 山梨県教育委員会 (一社) 山梨県サッカー協会 山梨県小中学校体育連盟
- 2 主 管 山梨県小中学校体育連盟サッカー専門部
- 3 期 日 令和7年11月2日(日)・11月3日(月)・9日(日)
- 4 会 場 富士山の銘水スタジアム 富士北麓公園 御勅使サッカー場 韮崎市営総合運動場 小瀬補助競技場
押原公園 御勅使南公園 日世南アルプススタジアム YSKe-comシルクパーク
- 5 参加資格 同一中学校に在学する生徒により編成されたチームで、学校長の承認を得た中学校及び県小中体連の合同チーム規定により認められた合同チーム。または、市町村運営団体が認め、山梨県小中学校体育連盟にて承認された地域クラブとする。なお、地域クラブ、民間クラブ等による合同チームは認められない。
- 6 競技方法 (1) ノックアウト方式とする。また、準々決勝進出チームによる選手権シード順位決定戦を行う。
(2) 競技時間については、次の通りとする。
競技時間は1回戦から決勝および順位決定戦まで60分とし、勝敗が決しない場合はPK方式で決定する。
- 7 競技規則 (1) 現行の日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則2025/2026』による。
(2) 大会登録選手は30名とし、試合ごと登録メンバー20名とし試合60分前にメンバー表で本部へ提出する。自由な交代(一度退いた競技者も再び出場できる)を適用し、交代の回数は9回までと制限する。交代の手続きは従来のサッカー競技規則第3条に則って行い交代カードを用いて手続きをする。なお、大会期間中は選手固有の背番号を原則とするが、やむを得ない事情や場合によっては同一の背番号を別の選手がつけることも可とする。大会申込後から大会初戦までは、大会登録選手変更が認められる。
(3) 本大会を通して2回警告された選手、ベンチ役員(引率、監督、コーチ)は、次の1試合の出場を停止する。3回目以降は、1回だけで次の1試合の出場を停止する。
(4) 競技中の不正行為により退場した選手、ベンチ役員(引率、監督、コーチ)は、次の1試合の出場を停止する。なお、内容により規律委員会で検討する
(5) 「プレー続行が困難な負傷等による交代」(脳震盪・ケガ)は最大9回の交代をした後でも回数制限なく行うことができ、通常の交代の人数に含まれない。その場合、交代で退いた競技者であっても再度交代が認められる。プレー続行が困難な負傷の疑いについての判断は各チームの指導者の責任において行い、交代の際は主審または第4の審判へ「脳震盪による交代」または「ケガによる交代」であることを伝え、審判と会場責任者はその事象を審判報告書及び結果報告書に明記する。なお、受傷した競技者は、その後、同じ日に行われる試合に出場することができない。
- 8 参加料 大会登録選手一人につき、500円とする。主催者の都合等で中止になった場合を除き、返金はしない。

- 9 参加申し込み 参加申込書に必要事項を記入の上、参加料と一緒に10月14日（火）の顧問会議に持参する。なお、出場しないチームは、下記へ9月1日(月)までに連絡をする。
- ※申込用紙に登録人数と参加料と合計金額を記入する欄がありますので忘れずに記入をお願いします。

県小中体連サッカー専門部 委員長 竹中 翼	
電話 055-241-5766（城南中学校）	

- 10 代表者会議 抽選会 (1) 令和7年10月14日（火）代表者(顧問)会議・受付 午後3時00分～
押原公園クラブハウス（予定）
(2) 本会議に出席できないチームは、その理由を書面にて委任状と一緒に提出すること。また、会議については支部専門部長に任せる。
- 11 役員 県小中体連サッカー専門部員・専門部が依頼する山梨県サッカー協会役員
- 12 表彰 第1位には優勝旗・優勝カップ 1位から3位までは賞状（小中体連・YFA）を授与。
- 13 試合球 試合球は、専門部で準備する。（『モルテンF5A4900』『ミカサFT550B』）なお、クレーグラウンドの会場は各チーム『モルテンF5A4901』試合球を持ち寄る。
- 14 その他 (1) 態度のおもわしくない選手のいるチームは、出場を認めない。
(2) 申込用紙には、必ず審判名を記入すること。審判に割り当てられた日が都合の悪い場合には、そのチームで責任をもって代理の審判員を出し、審判委員長に連絡をする。
(3) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は正の他に、副として異なる色のユニフォームを用意し、必ず試合会場まで携行すること。合同チームについては当該校同士で協議し、統一したものを着用する。
(4) ベンチに入れる者は、試合ごと登録メンバー20名及び学校関係者または地域クラブ等の有資格指導者4名までとする。（部活動指導員を含む）である。また、学校部活動においては外部指導者は1名とし、本専門部承認済みのコーチのみ、管理職は数に入れない。部活動指導員・外部指導者・地域クラブ等の有資格指導者がベンチ入りの際は必ずIDを携帯すること。なお、ベンチ入りスタッフの1名は感染症対策責任者となり、チームにおける感染症対策の責任を負う。
(5) 本大会のベスト8を令和8年度県選手権大会にシードする。
※シードになった合同チームが解消した場合、シードの権利はなくなり残りのチームのシード順位を繰り上げる。
(6) 1回戦から準々決勝までは、試合60分前に本部においてメンバー表のチェックとユニフォームの決定をチーム代表者と審判同席のもと行う。準決勝と決勝については、試合開始70分前にマッチコーディネーションズミーティングを行う。
(7) 抽選は予備抽選を行い、別途規定に従って行う。
(8) 審判は顧問、外部指導者、部活動指導員、地域クラブ等の有資格者のいずれかとする。
(9) 不測の事態が生じた場合は、専門部役員の協議により決定し、それに従うこととする。
(10) 準決勝及び決勝はマッチウェルフェアオフィサーの運用を採用する。
(11) 大会初日に大会参加同意書を本部へ提出する。